

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

海外進出しても日本は空洞化しない (その 1) 中沢 孝夫 (福井県立大学特任教授)

1. 日本国内ではリーマン・ショックのような大きな景気後退や、今回のような急速な円高などの事態に遭遇すると、「中小企業はどうなる」、「製造業の海外進出の加速で日本は空洞化する」といった危機論がきまって登場する。しかし大切なのは具体性である。現実のグローバル化を生き抜いている中小企業は、国際競争力を身につけており、「悲観論の発生源」としての「非貿易部門」、すなわちマスコミ、金融、批評家 (エコノミスト)、大学、行政、そして政治といった領域で生きる人々とは異なった日々を送っている。
2. 結論から先に言うておくと、海外進出している工場 (企業) ほど国内工場も成長しているし、また国内にとどまっている企業も、国難な中でも生きてゆく知恵と力を備えているのだ。製造業の継続と利益は「他に代替のきかないもの」を持つことによってもたらされる。それは会社の規模 (大きさ) とは関係がない。同業他社との間に、市場でのなんらかの優位性なしに「ものづくり」(工場) は成り立たないのだ。その優位性の基本はいうまでもなく開発力と技術力である。
3. 私が海外に進出している中小企業の聞き取り調査を始めて 15 年ほどになる。1990 年代はアメリカ、2000 年前後からは主に ASEAN 諸国や中国の各地に工場を訪ねている。そこで見るのは、日本の中小企業の技術力の素晴らしさ、経営の健全性、そしてたくましさといったことである。

(参考:「文藝春秋」2011 年 11 月特別号)

経営者のための理念・哲学

心願を持ち続ける

寺田 一清 (不尽叢書刊行会代表)

1. 「修身教授録」の著者、森信三先生は、「名利を超えて心願を死ぬまで持ち続けることが大事だ」と説かれました。志ではなく「心願」という言葉をよく使われたのです。
2. 「心願とは、人が内奥深く秘められている願いであり、如何なる方向にむかってこの自己を捧げるべきか、と思ひ悩んだあげくのはて、ついに自己の献身の方向をつかんだ人の心的状態とってよい。われわれ人間は、生をこの世にうけた以上、それぞれ分にに応じて一つの心願を抱き最後のひと呼吸までそれを貫きたいものです。心願を持って貫かねばいかに才能ありともその人の一生は真の結晶には至らぬ」。これもまさに森信三先生の教えの精髓といえます。

(参考:「致知」:2012 年 1 月号)

経営者のための危機管理

肥大化する中国進出リスク

1. 東日本大震災以降、台湾への関心が高まりつつある。一つは、総額 180 億円以上の多額の義援金を台湾が集めたこと。台湾は親日だという意識はあったものの、まさに行動でその気持ちを示してくれたことに、日本人は感謝と驚きを持った。ビジネス面でも、その傾向はある。大震災で工場などが被害を受け、サプライチェーンが停止。そのため、基幹部品などを海外に移したい企業がまず台湾に関心を示し、すでにパナソニック、キャノン、日立などが生産移転・工場新設へ動き出している。
2. では、なぜ台湾なのか。海外での主戦場は中国を中心とする新興国市場であることは間違いない。とはいえ、成長に伴うひずみと、共産党一党独裁という政治体制から生じる問題も顕在化。中国進出では、リスクが日増しに肥大化している。

(参考:「週刊東洋経済」2011 年 10 月 1 日号)

古典に学ぶ

自分の天命を知ろう

「されば孔子が曰れた『罪を天に獲る』とは、無理な真似をして不自然な行動に出ずるという意味であろうかと思う」

(訳) 孔子が言った「罪を天に獲る」とは、「本来の自分にそぐわない行動を取ったり、無謀な野望を抱いたりしても、うまくはいかない」という意味だろうと思う。

(参考: 渋澤健「渋沢栄一 100 の訓言」: 日本ビジネス人文庫)